

公の施設の指定管理者の指定（飯田市立動物園）について

1 公の施設の概要

(1) 基本情報

ア 施設名（通称）	飯田市立動物園
イ 所在地	飯田市扇町33番地
ウ 設置年月日	昭和28年5月5日
エ 設置目的	・動物を直に見て、ふれあうことで、生態や命の大切さを学び、同時に環境教育の場とすること。 ・市街地の集客施設として、商店街等との連携した各種イベントに協力することにより、中心市街地のにぎわいに貢献すること。
オ 施設・設備	①敷地の面積 8,500平方メートル（四季の広場、D51広場は除く） ②建築面積 管理棟 153.17平方メートル 管理棟以外 680.39平方メートル 合計 833.56平方メートル ③施設の内訳 管理棟、サル舎、猛禽舎、エミュー・ツル・オウム、バーバリシープ舎、車庫及び遊具置場、バードホール、便所、休憩所棟、控室棟1、控室棟2、プラットホーム棟、小動物舎棟、インコ舎棟、リクガメ舎棟、作業場棟、ペンギン舎、カモシカ舎、シカ舎、小獣舎A、小獣舎B、小獣舎C、多目的便所、コンドル舎
カ 施設の写真	



管理事務所



モンキーアパート



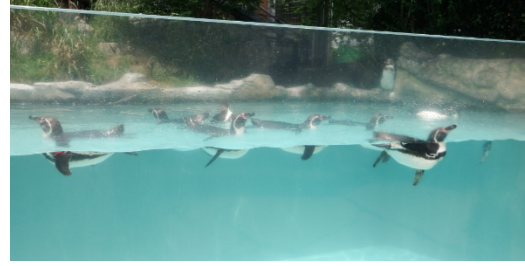
イベント広場・豆汽車



ふれあい広場



のりものランド



フンボルトペンギンの丘

(2) 管理の状況

ア 施設を管理する所管課	建設部維持管理課
イ 現在の管理方法	指定管理者制度
ウ 指定管理者制度導入年月日	平成22年4月1日
エ 現在の指定管理者名（募集方法）	株式会社Rethink（公募）
オ 現在の指定管理期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日まで
カ 指定管理者が行う業務	① 施設の維持管理に関すること。 ② 動物の育成、展示及び健康管理に関すること。 ③ 入園者の満足度向上及び飯田市中心市街地の活性化に寄与するための活動に関すること。 ④ 前各号に掲げるもののほか、市長が別に指示すること。

(3) 利用の状況（有効性）

ア 営業（開館）状況		令和4年度	令和5年度	備考
日数		312	313	※令和4年度の利用者数は過去最高
利用者数		148,429	144,225	
イ 利用者のニーズ・意見等		・アンケート調査では動物園の満足度を5段階にて評価。R5年度は平均4.56で前年度と同ポイントとなり、年間目標である4.5を達成できた。記述によるお褒めの言葉が約140件、応援メッセージが約120件と全体の7割近くを占めた反面、残りの3割は提案や要望、苦情であった。内容の多くは施設の老朽化や駐車場、周辺の飲食店についてのものであり、指定管理者に起因するものではない。		
ウ 利用者のメリット（利便性の向上、利用者の増加、地域活性化等の効果）		・多様化する住民ニーズに、効果的・効率的に対応するため動物園の施設の管理を、民間等の能力を活用することで、イベントの充実・サービスの向上と経費の縮減を図ることができた。		

(4) 収支の状況（効率性）

ア 決算		令和4年度（円）	令和5年度（円）	備考
	収入（A）	52,863,767	55,273,545	
	施設利用料等収入	4,480,399	6,177,550	
	市支出の指定管理料	47,000,000	48,514,000	
	雑収入	1,383,368	581,995	
	支出（B）	53,860,732	55,229,294	
	人件費	32,437,716	33,208,489	
	事務費	334,916	385,811	
	水道光熱費	6,549,147	6,154,167	
	租税公課	3,197,275	3,173,713	
	消耗品費	3,232,142	3,871,409	
	修繕費	472,264	440,111	
	保険料	698,652	368,732	
	飼育費	4,042,049	4,546,623	
	医療用品費	745,500	804,490	
	雑費	207,906	96,086	
	車両費	137,370	171,854	
	通信交通費	406,138	456,966	
	管理諸費	1,144,961	1,183,006	
	図書研究費	46,361	151,960	
	諸会費	208,335	215,877	
	収支（A－B）	-996,965	44,251	
イ 運営上のメリット（経費の節減、職員事務量の削減の効果）		・ 民間のノウハウを持った職員の雇用及び柔軟な人材確保によるサービスの向上が期待できるとともに、動物園同士で飼育している動物種との融通が利かせやすい。 ・ 民間事業者の持つノウハウが発揮されることで、有料イベントの実施など多様な収入の確保が期待できる。		

(5) 外部評価

令和6年度末で指定管理協定期間が終了する施設の実績評価（上記(1)から(4)までに記載の内部評価）に対する外部評価の結果

評価機関	飯田市行財政改革推進委員会		
評価期日	令和6年7月17日		
評価結果	総評	・ 良好な管理状況と確認した。	
	特記事項	・ 南信州唯一の動物園としての誇り、使命感を持ち、地域の魅力的な資産として、南信州で広域的に考えることが必要という意見があった。 ・ 施設の運営に膨大な維持費が必要となっている一方で、入場料は無料であるため、ふるさと納税などの財源確保を検討すべきという意見があった。	

2 指定管理者選定の経過

(1) 募集の状況

ア 募集方法（公募・非公募）	公募（公募期間：令和6年8月16日から令和6年9月17日まで）		
非公募の理由	—		
イ 指定管理者が行う業務	1 施設及び設備の維持管理に関すること。 2 動物の展示、健康管理及び調査研究に関すること。 3 自主事業に関すること。 4 危機事案に関すること。 5 業務委託に関すること。 6 その他業務に関すること。 7 事業報告書に関すること。 8 保険の加入に関すること。 9 維持管理経費に関すること。 10 区分会計の独立と管理口座に関すること。		
ウ 指定管理業務に係る運営経費の試算	項目	金額（円）	備考
	支出（ア）	58,950,000	
	人件費	40,000,000	
	維持管理費	15,140,000	飼育費、水道光熱費など
	一般経費	2,510,000	管理諸費、通信交通費など
	事務関連	550,000	事務費など
	その他	750,000	医療用品費など
	収入（イ）	5,500,000	
	利用料金	5,500,000	遊戯施設利用料
	収支（ア）-（イ）	53,360,000	
指定管理料	提示上限額 53,360,000円/年		
エ 応募者数	2団体		

(2) 選定の結果

ア 団体の概要

(ア) 名称・商号	株式会社Rethink
(イ) 代表者	代表取締役 水野 慎二
(ウ) 所在地	飯田市北方3430番地
(エ) 設立年月日	平成31年3月27日
(オ) 設立目的	ア まちづくり（地域振興・地域開発等）に関する調査及び研究 イ 商店街、商店の販売促進のための共同事業等、商業振興を図るための規格、運営、指導および情報提供 ウ 商店街振興組合、その他商店街活性化のための組織の一般事務処理、文書作成等の受託 エ 観光事業 オ 観光事業の提供並びにツアーの規格、運営 カ 広告代理店業並びに企業の広告宣伝・販売促進及びマーケティング

	グに関する企画・制作、販売、コンサルティング キ インターネットのウェブサイト、ウェブコンテンツ及びデジタル コンテンツの企画、デザイン、制作、販売、運営、保守及び管理 ク インターネットを利用した通信販売業 ケ 喫茶店、飲食店の経営 コ カシ、清涼飲料水、食料品、日用雑貨品、民芸品、工芸品の販売 サ 公園、動物園等の管理運営の受託 シ 公園、動物園等に関わる自然・生態系・環境教育等の研究及び学 習支援 ス 公園、動物園等に関わる関係団体との協働・交流・協力 セ 小学校、幼稚園、保育園等の飼育動物の飼育補助事業 ソ 動物飼育施設の動物飼育事業 タ 野生動物に関する調査・研究及び情報の収集・提供事業 チ 移動動物園の管理運営 ツ キャンプ場の企画、運営、設計 テ イベント、コンサート等の企画、実施、運営、管理及びチケット 販売並びにそれらに関する情報提供 ト 前各号の附帯し、または関連する一切の事業
(カ) 基本財産	資本金 金300万円
(キ) 役員・職員	代表取締役 水野 慎二、従業員13名

イ 選定の理由（令和6年飯田市告示第163号）

候補者は、当該施設の設置目的を十分に理解し、経費削減を図りつつ当該施設の効用を発揮することが期待できる。 また、動物の飼育及び展示に関する知見並びに当該施設の特徴を熟知した人員を確保し、及び配置することができ、適切な管理運営が期待できる。 更には、地域と連携したイベントの実施などにより、地域の拠点として中心市街地の活性化が期待できる。

(3) 評価の視点（適格性）

区分	配点	得点	評価
ア 指定管理者としての適性	10	8.33	施設の設置目的を理解し、施設管理運営に関する基本方針・事業計画が提案された。また、同種・同類施設の管理運営実績があり、成果が見られた。
イ 施設の有効活用	10	7.08	施設の設置目的を理解し、施設及び動物の特性に応じたイベントを開催し、設置目的達成に向けた取組が期待できる。
ウ 利用者対応（改善姿勢）	20	16.67	利用者ニーズの把握や自己の管理運営状況をチェックし、サービスの質を維持・向上させる取組が提案された。
エ 事業収支（収支の妥当性）	10	7.08	事業計画に基づく収支予算の見積りが提出された。また、市負担額の縮減を図る計画であった。

オ 職員配置等の 管理体制	10	8.33	仕様書に基づく業務に対し、安定的な人的基盤を有していた。
カ 危機管理の対応等	20	16.67	日頃から組織的に事故防止に努め、人だけでなく動物に対しても安全対策や事故発生時の対応が十分に検討されていた。
キ 地域連携・地域貢献	20	15.83	市街地の集客施設として、商店街等との連携した各種イベントに協力するなど、中心市街地のにぎわいに貢献する計画が提案された。
合計	100	79.99	

(備考) 適格の可否基準は、評価得点の合計50.00点以上と定めた上で評価

(4) 提案された令和7年度の事業収支（収支予算の見積り）

項目		金額 (円)
収入 (A)		58,950,000
	指定管理業務に係る収入	58,950,000
	市支出の指定管理料	53,360,000
	施設利用料等収入	5,500,000
支出 (B)		58,950,000
	人件費	36,820,000
	事務費	330,000
	水道光熱費	7,000,000
	租税公課	3,110,000
	消耗品費	3,120,000
	修繕費	360,000
	保険料	700,000
	飼育費	4,450,000
	医療用品費	600,000
	雑費	100,000
	車両費	150,000
	通信交通費	360,000
	管理諸費	1,510,000
	図書研究費	100,000
	諸会費	240,000
収支 (A - B)		0